

# 平成29年度 市民病院事務局長「政策宣言」達成状況

市民病院事務局長 笹本 清

## ○ 平成29年度重要事業

事業名	地域医療の確保と健全な病院経営の推進
目標	市民病院においては、市民の健康と命を守るための救急医療、循環器診療などの急性期医療に加えて、リハビリなどの回復期医療から在宅医療・介護までの医療連携が重要となっています。当院に設置している在宅復帰支援のための地域包括ケア病棟の効率的な運用を進めます。
年度末達成状況	平成29年5月に地域包括ケア病棟を1棟から2棟に拡大し、回復期病棟の機能充実を図りました。また、経営コンサルタントによる支援を受け、地域包括ケア病棟の効率的な運用に努めました。
自己評価	市民の安全・安心な医療において、急性期医療と回復期医療の両方が必要であり、これらをより効率的に提供していくことがますます必要であると考えます。

事業名	病院機能評価の受審（更新）
目標	よりよい病院づくりを目指して、地域社会から求められる病院であり続けるために継続して病院機能評価を受審し、医療の質の向上と患者の満足度を高めるよう効果的な医療サービスの改善に努めます。
年度末達成状況	平成30年2月15日と16日の本審査では、概ね良好な評価がなされ、更新される見込みです。
自己評価	病院機能評価の受審をとおして、今後、医療の質の向上と患者満足度の向上につながることを期待されます。

事業名	地域連携と広報活動の強化
目標	開業医や他の病院との連携をより一層進め、紹介患者の増加に努めます。また、病院広報誌を市内全戸に配布するとともに、ホームページの全面リニューアル、出前講座や市民公開講座も行うなど積極的な広報活動の展開に努めます。
年度末達成状況	市民公開講座や出前講座を開催し、積極的に地域に出かけ市民病院の周知を図りました。また、平成30年1月からホームページを全面的にリニューアルし、よりわかりやすくタイムリーな情報発信が可能となりました。
自己評価	市民の皆様から、最も信頼され、親しまれる市民病院となるため、今後ますます積極的な広報活動を展開していく必要があると考えます。